軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper　No.207（毎月10日頃発行）

軽井沢新聞

9月号　September 2020

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語

ガラス作家

河上 恭一郎 さん

感動をデザインに転換し、精力的に創作を続ける

「ガラスを通じて人の心を癒やしたい気持ちは、ずっとありますね」

食器や茶器を中心に、オブジェやアクセサリーなどのガラスデザインを手がけて57年。87歳を迎えた今もなお貪欲に、新作を発表し続けている。

代々ガラスに関わる家系で、曾祖父は明治期に官営の品川硝子製造所で学んだ。祖父の工場で作ったガラスの器などに幼い頃から触れ「美しさに惹かれていきました」。

東京芸大卒業後、松下電器産業（パナソニック）を経て、30歳で保谷硝子（現HOYA）に入社した。クリスタルガラス食器のデザインを主に担当。世界トップクラスの製作環境は魅力的だったが、個で勝負したい気持ちが高まり、54歳で独立した。

使いやすさを追求したシンプルなデザインで、表面にわずかな凹凸を表現した淡雪小鉢は、光を通したときの影が美しい。小布施堂本店では、コース料理のデザートの器として32年間、使われ続けていて「今でも発注があるのは、嬉しいよね」。

デザインの発想のため、常にアンテナを張り、感動したことは心の引き出しにしまうようにしている。

「大小関わらず、心が動いたことを貯めておくと、デザインにぱっと結びつくことがあるんです」

ひとつの作品に思いをより投影できるよう、ガラスを成形するための型も、昨年から自作している。

「料理人とキャッチボールをしながら一から作り上げたものを、お客さんに使ってもらえると嬉しいですね」

35年前、御代田町に別荘を建て、2年前に移住。軽井沢書店で「一坪のガラス展・本を添えて」を、9月22日まで開催している。これまでは銀座・和光のホールなど、広いスペースでの個展が中心で、一坪に満たない場所での展示は初めて。展示棚の1／3サイズのミニチュアを自作し、展示構成を考えた。

「作るだけでなく、どう見せたらわかってもらえるか、そこまでセットで考えないといけない」

9月から御代田町のふるさと納税の返礼品に、河上さんの19作品が加わる。「やりたいことを続けられていること」が、元気の秘訣。昨年亡くなった妻の支えは大きく、「親友に『今の河上があるのは、奥さんのお陰』と言われたけど、本当にそう思う」と目を細めた。

コロナ禍の夏、不動産、建築は好調も

厳しさ続く観光産業

コロナ禍の夏の軽井沢を取材した。訪問客のピークを迎えるお盆期間中も、町内の交通渋滞はほぼなし。旧軽井沢銀座の出張店の女性店主によると、歩いている人はいつもの半分くらい。「売り上げは2割以下。観光客も落ち着かない印象で、ゆっくり買い物しようという雰囲気がない」。

売り上げ減の影響を受け、旧軽井沢銀座の老舗が店を閉める話も出始めている。軽井沢銀座商店会の吉田博会長は、「明日は我が身。ここにしかない魅力ある店舗がなくなるのは、商店街にとっても痛手。誰か任せではなく、街全体で対策を考えないといけない」と話す。

8月15日14時、例年に比べ歩いている人が少ない旧軽井沢銀座通り。

一方で、感染拡大が続く都心などから、軽井沢にセカンドハウスを求める動きは活発だ。不動産売買・仲介のラ・ブリーズによると、7～8月の問い合わせが「例年の倍くらいの感覚」。建物付やマンションなど、すぐに入居できるタイプを求める方が圧倒的に多いと言い、「リモートワークの拠点として考えられているのでしょう」。また、住宅の設計、施工を担う町内の会社によると、今まで夏しか来ていなかった別荘客が冬も行き来できるよう、「水道の水抜きがいらない仕様に変えたい相談が目立つ」という。

上皇ご夫妻は、広島市の土砂災害で多くの犠牲者が出た2014年以来、軽井沢町での静養を取りやめられた。新型コロナの感染拡大をふまえたとみられる。ご夫妻を昨年もご案内した、軽井沢会テニス部長の諸戸清郎さんは「お二人にとっても軽井沢はプライベートな時間も多く、ゆっくりなされる機会だったので、そういう意味でも残念ですね」と話した。

新型コロナ

軽井沢病院の入院患者3人陽性

県内初の院内感染か

長野県は9月2日、町立国保軽井沢病院に入院中の患者2人が、新型コロナウイルスに感染したことを発表した。保健・疾病対策課の担当者は「県内初の院内感染が疑われる事例」と話した。

感染したのは、軽井沢町の80代女性と東御市の60代男性。80代女性は、8月20日に感染が判明した東京都の女性（肺炎の疑いで入院）と同室で、20日に検査を実施し陰性だったが、28日に発熱。60代男性は、8月上旬から同病院に入院し28日に発熱。東京都の女性とは、同じ階の個室に入院していた。同病院は県を通じ「行動歴に申告漏れがあり、今回の感染に繋がったと考えている」とコメントを発表した。

8月3日から、正面玄関にテントを張り、来院者全員に検温を実施している軽井沢病院。

一部の町民からは「肺炎が疑われる東京都からの患者を、個室で対応できなかったのか」。「（院内で最初の感染者が出た）20日の時点で、院内の感染が懸念されることを公開すべきだったのでは」と、対応を疑問視する声もあがる。

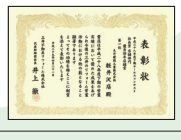
同病院は外来診療を当面の間、予約の患者のみに縮小。入院を伴う手術も、全て延期した。汚染の可能性のある病棟・外来診察室などは職員による消毒が完了し、消毒の専門業者を入れることも検討している。

9月4日までに、入院患者や病院職員ら203人のPCR検査を実施し、すべて陰性だったことを確認。2週間後をめどに、再度検査を実施する必要があるため、通常運営に戻るのは9月中旬以降になる見込みだ。町内の感染者は計6例（9月4日現在）を確認している。

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

三井のリフォーム 5つのお約束
1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認をいただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。



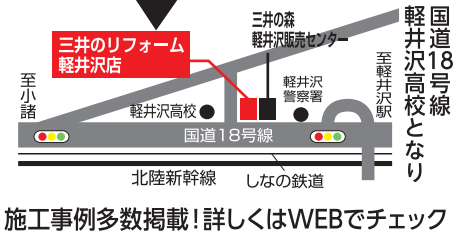
平成27年5月26日受賞
全国第1位の社長表彰をいただきました。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業

リフォーム専門店の私たちにおまかせください!!

リビングダイニング
キッチン・浴室
寝室・和室・書斎
外観・エクステリア
洗面・トイレ
水漏れ・雨漏り

あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。詳細はお問合せください。



施工事例多数掲載！詳しくはWEBでチェック
WEBで検索 三井のリフォーム軽井沢店 検索

リフォーム一筋21年
三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00
(0120) 278-321
メール karuizawa@mitsui-reform.com
悩んでいないで、まずはお電話ください！
見積り無料!!